

2024.4 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	✓			フロアスペース内でだるまさんが転んだ（10名）が 出来るスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			基準人員以上に配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	✓			施設内全面バリアフリーです。 トイレ内には手すりも設置している。
	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			定例会議や、課題に直面した場合ミーティングを行 い、振り返りをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケ ート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	✓			年度ごとにアンケート調査を行い、保護者の意向を 把握して改善の努力をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	✓			弊社ホームページ http://www.kcsmed.jp/?page_id=10 の下段に評価を公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	✓			支援事業所やその他関係機関の評価により業務の改 善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	✓			高萩市児童家庭支援センターの研修参加、および 月1回の内部研修などにより、研修の機会を確保して いる。
業務改善	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	✓			更新時期や支援内容を変更する際、面談を行い課題 を共有しながら計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			視覚優位による分かりやすい絵カードなどを活用して いる。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			各スタッフの意見を取り入れながら立案し実施して いる。また、結果をキックバックしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	✓			子ども達の意見も多く取り入れ、固定化しない工夫 を行っている。
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	✓			平日・休日・長期休暇に合わせ、目標や目的を設定し プログラムやイベントなどを随時行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作 成しているか	✓			一日の流れを計画し、分かりやすい絵カードを使用 しながらの支援を行い、レクリエーション等を組み 合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確認し ているか	✓			アセスメントで得た情報と、面談した様子を各スタッ フに伝え情報を共有し、毎日必ずミーティングを行 い、その日の業務の内容などをスタッフと共有して役 割を決めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日用いた支援の振り返りを行い、気付いた点等を 共有しているか	✓			送迎後のミーティングで、反省点や改善点を記録に残 して共有している。 朝のブリーフィングの際、再度伝えている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			業務日誌は必ず作成し、一日の活動の様子を写真で 記録している。 送迎後、支援検討を行い反省点をスタッフ間で共有 している。
適切な 支援の 提供						

関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		3か月、もしくは6か月に一度、状況に応じ定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを図っている。	
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	✓		個人個人のニーズに合わせた支援をしている。	
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		児童発達管理責任者が情報を提供するなどして会議に参画している。	
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓		週・月・年間と、行事予定や下校時刻など学校や保護者に確認しながら連絡や調整を行っている。	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓		必要性のある児童には、医師の指示書を求め内容を指示通りに対処している。また、嘱託医からも情報を得たのち、看護師と情報を共有している。	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓		相談支援員や支援事業所と連絡や報告を行い、情報を共有し対応できるようにしている。また、相談も行っている。	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	✓		担当者会議などを行い、情報を提供してスムーズに移行出来るように行っている。	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		支援センターのアンケートや情報提供などのアドバイスなどにより参考としている。また、県の研修などにも参加するようにしている。	
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓	地域の公園で他の児童と遊ぶなどの交流はあるが、児童クラブなどは交流の場として今後検討したい。	
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		✓	すべての会議には参加できていないが、今後徐々に増やせるよう検討したい。	
	保護者への説明責任等	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		送迎時に活動に内容の写真をしながら、様子や変化などを伝え、共通の理解を得ている。
		㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓		保護者との面談時にアドバイスや情報を提供し支援を行っている。
		㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		重要事項説明時、および質問に応じてその都度対応している。
㉚		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		相談や悩みがあれば、相談員と連携を図り、時間を調整して助言や相談を伺う場を設けている。	
㉛		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓ 保護者の要望等があれば今後検討し支援したい。	

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		苦情があった際は、迅速かつ適切に対応し、早期改善に向けご家族様と協議していく。記録は必ず残し、共有している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		毎月きゅーぶだよりを発行し、活動の様子などを伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	✓		職員の署名、および会議等で研修を行い、個人情報の管理に十分注意を図っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		視覚で分かるように、写真や分かりやすい絵付き文章にまとめ、情報の伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		地域活動があれば参加し、地域に貢献できる運営を図っている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓		全てのマニュアルを策定しており、各スタッフに周知し閲覧を促し、閲覧後にサインをもらうようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		年2回行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		外部研修、および会議等で虐待に関する研修を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		身体拘束を行ったことがないため記載事項はない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		アセスメントにてアレルギーの有無を確認し、必要に応じて指示書を頂いている。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		各スタッフにヒヤリハットの必要性を促し、今後の事故防止やケガの予防のために共有している。	